

Before >>

ご利用前の経緯

平成29年12月に、くも膜下出血、脳梗塞を発症。その後遺症から、左上下肢の麻痺や下肢筋力低下が見られ安全な歩行が困難になりました。以前はよく旅行に出かけ、日本全国を回っていました。旅行先で温泉に入るのが好きでしたが、今では入浴が一人では入れなくなってしまいました。生活の楽しみを失っていた中、ケアマネジャーさんから生活動作のリハビリができる nagomi プラスをご紹介いただきました。

生活状況と課題

- 浴槽のまたぎ動作を一人で安全に行うことができない。
- 入浴にはご家族の支援が必要である。

After >>

浴槽をまたいで、湯船に入れるようになりました。

喜びの声!

A様 71歳(男性) / 要介護3

くも膜下出血・脳梗塞

平成30年8月より

東京都nagomiプラス千川店を週3回利用

ご家族の声

週1回から週3回の利用になり、身体の動きが良くなっていると感じています。

入浴をすると、「身体が温まり、とても気持ちいい」と話してくれています。

自宅での介護負担も減り、皆様にとても感謝しております。



今後の目標

旅行に行けるように、50mの距離を休まず歩けるようになりたい。そして、旅行先の温泉で湯舟に入りたい。

生活目標

ご自身の力で浴槽を安全にまたぐ事ができる。

目標達成に向けた課題

左股関節の柔軟性が低い為、足が上がりにくい。

A様が取り組まれた運動をご紹介します!! (訓練風景を公開しています!!)

① 身体機能訓練

入浴動作：可動域を広げ、足を持ち上げる運動



骨盤・股関節周囲の筋肉ほぐしや筋力トレーニングを実施しています。

浴槽をまたぐ動作に特化した訓練を重点的に行い、麻痺側の股関節の可動性を高めています。

ご自身で動かせる範囲で足を持ち上げ、中心軸に重心を保ちながら足を高く上げていただくよう声かけをしています。



訓練の動画はこちら

② 実践訓練

入浴跨ぎ動作



店舗内の入浴動作訓練専用の浴槽を使用しています。

安全に浴槽の出入りができるようにバスボードを使用していますが、立位でも浴槽をまたげるようになることが今後の目標です。

右足を浴槽に入れる際の左足(患側)への重心移動と、左足を持ち上げる際のバランスを意識できるように支援しています。



訓練の動画はこちら